

事業内容② 医療介護従事者向け研修

資料 5

令和 7 年 1 0 月 3 0 日
第 1 回 ACP 推進部会資料

事業方針

医療介護従事者がACPについて理解し、意思決定支援を行えるようになる

◎ ACPを理解し、意思決定支援をする医療介護従事者

日々の意思決定支援の中で、本人の最終段階に向けた意思決定支援を行うことができるようになること。また、終末期に向けた意思決定支援として、家族との調整や倫理的な課題にも適切に対処できるようになること。

取組の

- ・医療介護従事者へACP、終末期における意思決定支援についての基礎的な事項の啓発（**理解促進**）
- ・積極的な治療や介護を希望しないこと等、倫理的な課題について多職種で連携し、対応していくことができる地域の資源の養成（**連携体制の強化**）
- ・ACPとは話し合いの場を設けることで完結するものではなく、医療・ケアについて考え、価値観を共有するプロセスであることを踏まえ、進行中のケアプランと切れ目なく意思決定支援することができるようになること（**支援力の向上**）

令和2～6年度の取組（研修内容）

年度	事前聴講動画	リアルタイムオンライン講義	グループワーク
R2	○ACPの基礎知識について 法的な視点や倫理的観点等 6つのポイントからACPについて 紹介	○事例紹介 ・ 認知症 のある方の事例（ 在宅医 の立場から） ・病院内における、 医療提供者の方針と本人や家族の意向が合わない場合 の事例（ 病院医師 の立場から）	—
R3	○ACPの基礎知識について 意思形成支援／意思表明支援／意思実現支援について学びを深める ○新型コロナをはじめとした急性期疾患に備えて	○事例紹介 ・入退院を繰り返しながら 自宅で最期まで過ごすことを望む方 の事例（ 訪問看護師 の立場から） ・ 認知症 ではあるが住み慣れた自宅で暮らし続けたい方の事例（ 地域包括支援センター の立場から） ○パネルディスカッション	—
R4	○ACPについて ～ACPの始め方、進め方～	○ パターンリズム とACP ○ 病院内でのACP推進 （ 病院医師 の立場から） ○ 地域でのACP推進 （ 自治体 の立場から） ○パネルディスカッション	—
R5	○ACPの基礎 R2～R4の事前聴講動画 及びリアルタイムオンライン講義 を配信	○事例紹介 ・ 特別養護老人ホーム におけるACP ・ 認知症 ではあるが住み慣れた自宅で一人暮らしを続けたい方の事例（ 地域包括支援センター の立場から） ・ 若年がん患者 のACP（ 病院医師 の立場から） ○パネルディスカッション	○事例検討①地域包括支援センターにおけるACP事例 ○事例検討②若年がん患者のACP事例 ○意見交換 ①自身の職場でACPを行うにあたって困ったこと・大変だったこと、成功したこと ②今後自身の職場で実践したいACP推進の取組
R6	○ACPの基礎 R2～R5の事前聴講動画 及びリアルタイムオンライン講義 を配信	○講義：生命にかかわる急性期疾患に対する意思決定の対応（ 病院医師 の立場から） ○事例紹介 ・外来から病棟・訪問看護へつないだ 糖尿病高齢患者 へのACP支援（ 病院看護師 の立場から） ・治療選択に迷う 超高齢がん患者 へのACP支援（ 訪問看護師 の立場から） ○パネルディスカッション	○事例検討①外来から病棟・訪問看護へつないだ 糖尿病高齢患者 のACP事例 ○事例検討②治療選択に迷う 超高齢がん患者 のACP事例 ○ミニ講義：生命にかかわる急性期疾患に対する意思決定の対応 ○意見交換 ①自身の職場でACPを行うにあたって困ったこと・大変だったこと、成功したこと ②今後自身の職場で実践したいACP推進の取組

令和7年度ACP推進事業 医療介護従事者向け研修について

○ 事前聴講動画

タイトル	担当	時間	方向性・狙い
意思決定支援の基礎の「き」を学ぶ	稲葉委員	20分	R6研修アンケートに基づいたヒント集等。 研修受講者がACPを実践するに当たっての気づきを促す。
R2～6 事前聴講動画とリアルタイム講義動画のアーカイブ配信	—	—	過年度の動画から、ACPの基礎を学ぶ。

○ リアルタイムオンライン講義（案）（令和8年2月12日（木曜日）18～20時開催予定）

タイトル	担当	時間	方向性・狙い
福祉用具の導入が想定される事例を通じて考える意思決定支援（仮）	石山委員	15分	<p><コミュニケーション方法> 本人と専門職の価値観や時間軸の相違といった視点及びチームに共有し協議の場を設けて意思決定支援に繋げる視点から、コミュニケーションスキル等を学ぶ。</p> <p><事例発表> 取組としての正解を横展開していくものではなく、あくまで現在取り組んでいる一例として発表。 取組の考え方やそこから見えてくる課題を共有する。</p>
事例発表① 特殊寝台貸与（介護用ベッド）の利用に関する認知症の事例（仮）	有限会社大千 おおぞら介護サービス ケアマネジャー 大森様	15分	
事例発表② 急性期治療を受ける高齢者の意思決定支援の実践事例について／手術を受ける患者への意思決定の実践事例について（仮）	日本赤十字社医療センター 老人看護専門看護師 及川様	15分	
パネルディスカッション	全員	40分	事例発表に基づいてディスカッションを行う。 同じ事例について様々な立場の専門家の意見を聞くことで、ACPについての理解を深める。

○ グループワーク（案）（令和8年3月20日（金曜日・祝日）13時30分～16時30分開催予定）

時間		内容	方向性・狙い
13:30～	10分	挨拶・全体説明	
13:40～	35分	事例検討① 特殊寝台貸与（介護用ベッド）の利用に関する認知症の事例（仮）（事例振り返り5分+事例検討30分）	事例発表いただいた2事例について意見交換を行い、対象患者に対するACPを様々な視点から検討することで、ACPに関する視野を広げる。
14:15～	15分	・発表（3分×4グループ） ・総括（3分）	
14:30～	35分	事例検討② 急性期治療を受ける高齢者の意思決定支援の実践事例について／手術を受ける患者への意思決定の実践事例について（仮）（事例振り返り5分+事例検討30分）	
15:05～	15分	・発表（3分×4グループ） ・総括（3分）	
15:20～	10分	休憩	
15:30～	3分	【ミニ講義】	参加者の今後の職場での取り組みに活かせるよう、自身の経験をグループ内で共有し、他の専門職と意見交換する。
15:33～	30分	①自身の職場でACPを行うにあたって困ったこと・大変だったこと、成功したこと ②今後自身の職場で実践したいACP推進の取組	
16:03～	12分	・発表（3分×4グループ）	
16:15～	15分	・アドバイザーからのコメント ・全体総括	

- ・ グループ分け：多職種
- ・ ファシリテーター：委員の先生方にファシリテーターとして参加していただく
- ・ 想定人数（最大）：6名×10グループ＝60名